離婚・再婚家族と子ども研究投稿論文チェックリスト（2023年1月版）

　投稿原稿とともにご提出下さい。

論文題目

（ ）

　チェックしたら，（　　）内に「○」あるいは「該当なし」，「いる」を記入してください。

1. 書式，形式，提出物などに関して
	1. A4用紙に1ページ40字×30行で書式設定した。（　　）
	2. 用紙の左・右に3.0cm以上の余白をとった。（　　）
	3. 規定の合計字数(27,000字)以内に収まっている。（　　）
	4. 本文(引用文献を含む)には，ページ番号と行番号を記載した。（　　）

原稿の右余白に，すべての図や表の挿入箇所を示した。（　　）

* 1. 必要な提出物（論文題（日本語・英語），日本語要約，本文，文献，英語要約（必要に応じて，資料，脚注，表，図，付記）がそろっている。（　　）
	2. 投稿論文と内容的に関係の深い，同一著者による論文（関連論文）がある場合，その抜き刷りまたはコピーを提出物に含め，投稿申請書にその書誌情報を記載した。また，関連論文のファイルについては，第1ページ上部に「関連論文」と朱書きし，投稿者の氏名・所属および書誌情報の部分を塗りつぶした。なお，関連論文がない場合は，投稿申請書に「なし」と記載した。（　　）
1. 文章に関して
	1. わかりやすく簡潔で，読み手に確実に内容が伝わる文章にした。（　　）
	2. 主語が不明で， 2 通りに解釈できる文章はない。（　　）
	3. パラグラフ同士のつながりは明確である。（　　）
	4. 誤字，人名のスペルミス，文献記載の不備等の誤りはない。（　　）
	5. 英文は熟達した人の校閲を経た。（　　）
	6. 印刷中の論文は刊行年の箇所に「(印刷中)」と明記し，投稿中の論文は，末尾に 「(投稿中)」と明記した。投稿中の論文については投稿先の雑誌名は記載していない。（　　）
	7. 上記以外の形式面は，執筆要項記載の手引き等に従い，1つの形式を一貫して使用し，複数の形式が混在していない。（　　）
2. 図表に関して
	1. 図表は必要なものだけを，わかりやすい形で提示している。（　　）
	2. 無駄な図表はない。（　　）
	3. 図と表で示された内容は重複していない。（　　）
	4. 図や表のタイトルは適切である。（　　）
3. 論文の内容に関すること
	1. 方法や結果が過不足なく記述されている。（　　）
	2. 方法に不明な点はない。（　　）
	3. 主要な結果を中心にまとめられている。（　　）
4. 統計に関して
	1. 適切な統計的手法を用いている。（　　）
	2. 検定対象のデータが，その検定を使用するための前提条件を満たしている。（　　）
	3. 検定結果の解釈は妥当である。（　　）
5. 倫理的配慮について
	1. 研究に，倫理的配慮が必要な手続きないし項目が含まれていない。なお，含まれている場合は「いる」と書いてください。（　　）
	2. 倫理的配慮が必要な手続ないし項目が含まれている場合，配慮した内容が本文中に具体的に記述されている。該当しない場合は，「なし」と書いてください。（　　）
	3. 付記に，利益相反（Conflict of Interest：COI）について記述した。（　　）
6. 二重投稿の禁止について
	1. この論文は同時に他の学術雑誌に投稿していない。（　　）
	2. この論文は未公刊である。学術および一般雑誌，大学や研究機関等の紀要，学術および一般図書に掲載されたことはなく，印刷中でもない。（　　）
7. 著作権について
	1. 著作権について十分に配慮した。例えば，①既公刊論文（自身の先行研究論文を含む）における本文・図表・尺度・調査紙（質問項目・検査項目など）の引用に際し出典を明示した。②既公刊論文における図表や尺度・調査紙を改変して引用する際，改変したことを論文に明記した。③また改変にあたり許可が必要な場合，版権を持つ出版社等に許可を得た。④未邦訳の尺度や調査紙を翻訳・翻案して利用し論文に引用する際，版権を持つ出版社等に許可を得た。⑤自ら関与した共同研究のデータを論文に利用する際，共同研究者やデータの管理者に了解を得た。（　　）
8. 会員資格の確認
9. 第１執筆者は本学会の会員である。（　　）

※第１執筆者が会員でない場合は投稿する前に入会してください。

1. 今年度分の会費は納入済みである。（　　）

※未納入である場合は，投稿前に納入してください。